



神明中だより

<http://www.suginami> -

教育目標 創造・鍛錬・共生 校訓 自主・自律

令和5年3月15日

3月号

杉並区立神明中学校

杉並区南荻窪2-37-2

「釜石の奇跡」

校長 山内 清一

3月6日（月）は二十四節気の「啓蟄」です。地中で冬眠していた虫たちが姿を現すとされています。いよいよ本格的な春がそこまでやっています。

2011年3月11日に東日本大震災が発生して12年が経とうとしています。国内観測史上最大規模の地震と津波によって、多くの方が犠牲になりました。3月11日は忘れることのできない、忘れてはならない日です。

今年も「あの日を忘れない」ために全校朝会で話をしました。「釜石の奇跡」についての話です。

地震発生後、岩手県釜石市の海に近い小・中学生の子ども達は、下校後、全員無事に避難することができました。なぜなら、群馬大学の片田敏孝先生から10年にわたって、「災害から命を守る避難3原則」を教えていただいていたからです。それは

1. 想定にとらわれるな

釜石市には、ハザードマップというものがあり、津波による浸水が予想される地域には、地図上に色が塗られている。しかし、自然なのだから、想定通り津波がくるとはかぎらない。もしかしたら、想定より非常に大きなものがかかるかもしれない、ということを常に頭に入れておく。

2. 最善をつくせ

「どの状況下においても最善をつくす」ということ。津波の危険があるところであれば、少しでも早く、少しでも高いところに避難すること。自分で判断し、最善を尽くした行動をとることが大切だ。

3. 率先避難者たれ

他の人がためらっているとき、ぜひ率先避難者になれということ。みんなが様子を見ている状況を打ち破ることができるかどうか重要。真っ先に逃げることは恥ずかしいと思うかもしれないが、真っ先に自分が逃げることで他の人も逃げようとする。逃げる行為が人を助ける尊い行為につながることになる。

片田先生は「中学生はもう守られる立場ではない。人の命を守る立場。君たちの力で、一人も死なない地域にしてほしい」と常に投げかけていました。災害は様々な所で、突然起こる可能性があります。その時の状況により、自分の命を守るために、最善の行動をとれるように「釜石の奇跡」の教訓を活かすことが求められます。そのためにも、日頃から避難訓練には真剣に臨むとともに、地域で災害が起こったときにどのように行動すればよいのか考えてほしいと思います。

《2・3月のアルバム》

《遊びのフェスタ》2月4日(土)



高井戸四小での1年生の様子

《三年生を送る会》3月4日(土)



神明クイズ



記念品贈呈



くす玉披露



花道退場

《2年生百人一首大会》3月8日(水)



体育館で行いました

《3年生球技大会》3月9日(木)



体育館でのバスケットボール



校庭でのサッカー



【4月の予定】

4 / 6 (木) 始業式

7 (金) 入学式

11 (火) 新入生歓迎会

14 (金) 全校保護者会

18 (火) 全国学力調査(3)

21 (金) 離任式

